

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐーなっつ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年12月11日		～ 2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年12月11日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の利用者の実態に応じた支援の充実	・アセスメントを複数人で行い、支援会議において職員が忌憚のない意見を出し合うことで、利用者の現状や課題を丁寧に分析し、職員がその子の療育におけるねらいや支援方法を共有しています。	・児童発達支援ガイドラインの内容についての学習やねらいに基づいた支援のための教材研究の充実。 ・職員相互の情報交換や、研修の充実による資質向上
2	丁寧な保護者支援	・保護者の必要に応じいつでも相談に応じることができたり、送迎時など日々のかかわりの中で保護者が安心できる対応を心がけています。	・療育の様子を見てもらう子育てサポートの充実。 ・保護者が日々の療育やお子さんの育ちを理解しやすいような分かりやすく、手軽に見られるツールの活用
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信	・利用者の事業所での様子や連絡事項などを確実に伝えるにはどうすればよいか？ ・保護者が見やすいツールは何か、ほしい情報は何かなどのニーズの把握ができていないのではないかな？ ・非常時や危機管理に関することは重要事項説明時にお話はするものの、分かり易い書面などでの提示ではなかったため、認識されずらかったのではないかな？	・現在利用している保護者のほしい情報と、事業所を探しているなど、これから利用したい方のほしい情報をどのように整理し発信していくのが良いか考えていきたいと思っています。 ・非常災害時、危機管理対応児、虐待等に関するマニュアルの概要版などを作成し、保護者が十分に取組みを理解できるように考えていきたいと思っています。
2	家族参加の研修や行事	・年に1度行っている保護者向けの研修講座だけでは、保護者同士の交流が少ない？ ・どのような行事が望まれているのか？また研修会を行う日時や場所をどうすれば保護者や家族が参加しやすいのか？	・研修講座など学習要素が強いものだけでなく、純粋に家族で楽しめ、参加者同士が交流できるような行事なども考えていきたいと思っています。

3			
---	--	--	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぐーなっつ (児童発達支援)公表日 2025 年 3 月 20 日利用児童数 19名回収数 16名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の数が多く安心して預けられる。 ・たくさん先生の先生にみてもらい、安心して過ごせていると思う。 ・概ね職員は足りていると思うが、混んでいる時など職員が急な休みなのかと思うことはある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援の基準人員は保育士2名の配置となっているので、ぐーなっつではほぼ2倍程度の保育士が療育に携わっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい構造だったり子どもに合わせて環境を整えてくれている。バリアフリーについてはわからなかった。 ・いろいろ工夫された環境だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構造上これ以上のバリアフリーは難しいかもしれませんが、環境の構造化はお子さんの実態に応じて工夫していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが好きな事や困りごと、特性に合わせた支援内容になっていると思う。 	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談があり困りごとの聞き取りもある親や幼稚園からのニーズや課題が分析されたうえで作成されていると思う。 ・計画所は丁寧に作成されている。転居先の相談員も丁寧に施設だと言っていた。 	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインは札幌市のホームページから見ることができますのでお時間のある時にご覧ください
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの特性に合った支援内容になっていると思う。 ・なかなか連れていけない場所や親も知らない遊びやものづくり等をいつも教えて一緒に遊んでもらっている。 	

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	0	0	6	・児童館に連れて行ってもらっているが交流となるとわからない。 ・児童館やイベントなどでいろいろな施設に連れて行ってもらっているので交流の場はあると思う。	・児童館、COみどり、図書館、水道記念館等地域の公共施設を利用することで施設利用者との自然な交流が図られています。今のところ交流を目的に他施設を利用するということはありませんでした。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	・面談時に説明され、書面ももらっている。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0	・定期的な面談で説明されている。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	0	0	・親が参加できる研修会などを知らせてもらっている。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0	・送迎の際や通所ファイル、ライン等健康や発達について共通理解ができている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0	・定期的な面談がある。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2	0	2	・まだ入所したばかりで参加できておらずわからない。	・保護者参加の行事や研修会も行っていますが、いろいろな条件で参加できない方もいるので、場所や内容、報告の仕方の工夫なども考えていきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	1		・ラインや電話などで随時相談をお受けしています。遠慮せずに小さなことでもご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0	・通所ファイルやラインでのやり取りができているので困った事はない。	・ラインやホームページなどで情報発信は行っていますが、今後更に保護者の皆様から情報を受け取りやすいツールなども工夫していきたいと思っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	0	・通所ファイル、書面、ライン、SNSを通して発信されている。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	2	・定期的な避難訓練がなされているが対応マニュアルについては説明を受けたことがないと思う。	・ぐーなつつでは、毎月避難訓練を行っていますが、活動の報告などが不足していたと思います。今後は訓練の様子などについても発信していくよう心がけます。 ・非常事態の対応マニュアルについては説明等が不十分だったと思います。今後マニュアルの概要版を作成するなど保護者の皆様にも分かり易い方法を工夫してお伝えできればと考えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	1	・定期的な避難訓練が行われているので、何かあっても子どもが混乱せずに行動できると思う。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	1	・電話や送迎時の報告など速やかに説明がなされていると思う。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0	・たくさんの先生に診てもらい安心して過ごせていると思う。 ・以前は安心感があったが最近はその人の幼稚園での困りごとがあり親と離れたがらない思いがあるのでこちらともいえないとした。	・こどもたちが毎回楽しみにして登所できるように、今後もお子さんの特性を十分に理解し、楽しい遊びを通して成長を促すことができるように努めてまいります。 ・療育内容やお子さんの成長を保護者の皆様にも分かり易いように、今後も丁寧な対応を心がけていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	2	0	0	・ぐーなっつで会える友達や先生と遊べることをいつも楽しみにしている。 ・以前は安心感があったが最近はその人の幼稚園での困りごとがあり親と離れたがらない思いがあるのでこちらともいえないとした。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	・こどもの特性を理解し、その都度支援してもらえることに感謝している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぐーなっつ (児童発達支援)		公表日		2025 年 3 月 20 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		一人一人の興味関心によって場所を保障するように工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		体制としての配置数より2倍程度の保育士で一人一人の興味関心に応じた活動を保証するよう配慮している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		個別の部屋は多くないので、机の配置などで工夫している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。					・保護者アンケートや自己評価は行っていますが、第三者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		ホームページに支援プログラムを分かり易い形で載せている。	ホームページに載っていることの周知が不足していたかも。今後面談などの折に保護者への周知を促していきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		アセスメントや支援会議を充実し職員間での共有を徹底したうえで保護者とも共有している		
	13	児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		支援会議での検討内容や療育の方向性は、パートの職員も含め共有し、同じ方向性をもって支援できるようにしている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			ガイドラインが今年度変わったので理解が不十分のところもあると思うので、更に学習を深めていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11			<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容については一人一人の興味関心や、必要な療育課題、専門的支援の内容などを踏まえて主に正職員で検討し、パートの職員にも方向性や当日の活動内容と支援の方向性を伝達したうえで療育を行っている。 ・日々の活動は個別のプログラムである大好きな時間と、集団のプログラムである、みんなの時間を適切に取り行うように努めている。 また、記録は丁寧に取るようにし、その日の療育を振り返っての課題や、一人一人の成長が分かり易いようにしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4		まだ実績が多くないが、必要に応じて引継ぎシートを作成し共有している。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11		保護者向けの研修会を行っている。	ペアレントプログラム等についての研修を今後職員も受けるようにするとともに情報の提供を行うようにしていきたいと思う。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11			地域に開かれた行事は行ってないので、今後検討していきたい。
非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12			マニュアルは作成しているが周知が十分ではないので今後概要版の作成などを検討する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			・非常時の安全確保、虐待、アレルギー対応等については年度初めに研修を行い、全職員に周知するようにしています。必要に応じ計画を見直し更新していきます

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			しいきまり。 ・安全計画について利用者の保護者と十分な共通理解ができていなかったため、今後非常時対応等についての周知を心がけていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1		